



大鋸の丘

2024（令和6）年3月（臨時号）

藤沢市立大鋸小学校

校長 山崎 晋治

2023年度 よりよい学校づくりのためのアンケート結果と考察

今年度も、3・5年生の児童と保護者、教職員、学校関係者による、よりよい学校づくりのための学校評価アンケートを実施いたしました。

【児童アンケートの結果より】

3年生

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
元気な子	1	学校では、友だちと元気に遊んだり勉強したりしている。	71%	24%	1%	1%	3%
よく考える子	2	勉強でも生活でも、よく考え、はじめのある行動をしている。	48%	38%	6%	5%	3%
ねばり強い子	3	できないことがあっても、あきらめずにできるまで頑張ろうとしている。	58%	35%	4%	2%	1%
思いやりのある子	4	誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している。	46%	41%	7%	2%	4%
生活	5	先生や友だちに、進んであいさつをしている。	46%	37%	12%	4%	1%
	6	係や当番(委員会)などの仕事を、進んで行っている。	65%	26%	5%	1%	2%
	7	学校のきまりを守っている。	47%	42%	6%	4%	1%
学習	8	毎日の学習は、だいたい理解できている。	62%	28%	8%	1%	0%
相談	9	何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる。	78%	16%	3%	3%	0%
	10	学校には、いじめなどこまったときに、話を聞いてくれる先生がいる。	68%	18%	7%	4%	3%
情報	11	家族に学校の様子を話している。	61%	31%	5%	3%	0%
安全	12	身の回りの安全について気をつけている。	74%	22%	1%	1%	1%

5年生

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
元気な子	1	学校では、友だちと元気に遊んだり勉強したりしている。	65%	30%	3%	2%	0%
よく考える子	2	勉強でも生活でも、よく考え、はじめのある行動をしている。	23%	56%	19%	0%	2%
ねばり強い子	3	できないことがあっても、あきらめずにできるまで頑張ろうとしている。	40%	49%	8%	2%	2%
思いやりのある子	4	誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している。	31%	57%	9%	1%	3%
生活	5	先生や友だちに、進んであいさつをしている。	56%	31%	11%	2%	2%
	6	係や当番(委員会)などの仕事を、進んで行っている。	58%	39%	3%	0%	0%
	7	学校のきまりを守っている。	42%	55%	2%	1%	1%
学習	8	毎日の学習は、だいたい理解できている。	50%	41%	6%	2%	0%
相談	9	何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる。	74%	17%	4%	5%	0%
	10	学校には、いじめなどこまったときに、話を聞いてくれる先生がいる。	58%	24%	9%	6%	3%
情報	11	家族に学校の様子を話している。	52%	27%	19%	2%	0%
安全	12	身の回りの安全について気をつけている。	60%	34%	3%	0%	2%

【保護者アンケートの結果より】

3年生保護者

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
教育目標・指針	1	学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している。	22%	53%	11%	0%	15%
生活	2	子どもは楽しく学校に行っている。	52%	41%	6%	0%	1%
	3	子どもは家庭や地域で、進んであいさつをしている。	21%	45%	25%	6%	4%
	4	子どもが食事や睡眠など、規則正しい生活をするよう促している。	55%	39%	6%	0%	0%
学習	5	学校は分かりやすい授業に努めている。	34%	49%	5%	2%	10%
	6	保護者は、子どもの家庭学習に協力している。	30%	59%	10%	1%	0%
	7	子どもは学習をだいたい理解している。	32%	59%	8%	1%	0%
相談・支援	8	学校は保護者が相談できる体制を整えている。	31%	41%	11%	1%	16%
	9	学校は、子どもの話をていねいに聞き、いじめ防止等に努めている。	21%	47%	7%	0%	25%
情報	10	学校は、適切な情報発信に努めている。	19%	64%	7%	1%	9%
	11	子どもから、学校の様子を聞いている。	41%	45%	11%	3%	0%
	12	保護者は、学校や学年からのたよりを読んでいる。	64%	36%	0%	0%	0%
安全	13	学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている。	32%	52%	3%	1%	13%

5年生保護者

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
教育目標・指針	1	学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している。	28%	56%	9%	1%	7%
生活	2	子どもは楽しく学校に行っている。	37%	49%	10%	3%	1%
	3	子どもは家庭や地域で、進んであいさつをしている。	23%	46%	27%	3%	1%
	4	子どもが食事や睡眠など、規則正しい生活をするよう促している。	44%	43%	11%	0%	1%
学習	5	学校は分かりやすい授業に努めている。	24%	63%	7%	0%	6%
	6	保護者は、子どもの家庭学習に協力している。	22%	61%	16%	1%	0%
	7	子どもは学習をだいたい理解している。	23%	61%	14%	1%	0%
相談・支援	8	学校は保護者が相談できる体制を整えている。	31%	53%	11%	0%	4%
	9	学校は、子どもの話をていねいに聞き、いじめ防止等に努めている。	20%	53%	12%	1%	13%
情報	10	学校は、適切な情報発信に努めている。	22%	61%	10%	0%	7%
	11	子どもから、学校の様子を聞いている。	43%	49%	7%	1%	0%
	12	保護者は、学校や学年からのたよりを読んでいる。	51%	44%	4%	0%	0%
安全	13	学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている。	39%	48%	10%	0%	3%

昨年度より、Google フォームを活用したウェブ上での回答となり、保護者の回答率がやや下がってしまい、3年生保護者は約75%、5年生保護者は約70%の回答率でした。保護者の皆様には、お忙しい中、ご回答いただきありがとうございます。

主なものについては、考察を記載いたしましたが、保護者の皆様におかれましても、このアンケート結果から、ご家庭での様子を振り返っていただければと思います。

【教職員アンケートの結果より】

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
教育目標・研究	0	学校教育目標・校内研究テーマを指して教育活動を行っている。	36%	58%	3%	3%	0%
元気な子	1	子どもたちが、楽しく充実した学校生活になるよう努めている。	58%	42%	0%	0%	0%
よく考える子	2	よく考え、はじめのある行動をするよう指導している。	55%	42%	0%	3%	0%
ねばり強い子	3	最後までやり遂げられるよう継続した支援を行っている。	42%	52%	7%	0%	0%
思いやりのある子	4	互いに認め合い、思いやりのある児童の育成に努めている。	61%	36%	3%	0%	0%
生活	5	子どもたちが、場に応じた自然なあいさつができるよう指導している。	29%	55%	13%	3%	0%
	6	子どもたちが、自主的自発的に活動できるよう努めている。	39%	55%	7%	0%	0%
	7	子どもたちに、基本的な生活習慣の定着を図っている。	45%	48%	7%	0%	0%
学習	8	分かりやすく、楽しい授業づくりに努めている。	45%	52%	3%	0%	0%
相談	9	一人一人を大切にされた教育活動に努めている。	52%	45%	3%	0%	0%
	10	児童の様子を共有し、組織的な児童指導・児童支援を行っている。	65%	32%	0%	0%	3%
情報	11	学級や授業等の情報を発信し、家庭との連携に努めている。	36%	61%	3%	0%	0%
安全	12	児童の安全確保のため、環境整備や安全・防災・防犯指導に努めている。	45%	48%	3%	0%	3%

【学校関係者アンケートの結果より】 ※単位 人

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
教育目標・指針	1	学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している。	5	2			
生活	2	子どもたちにとって、学校は楽しい場所になっている。	7				
	3	子どもたちは、家庭や地域で、進んであいさつをしている。	1	2	3	1	
学習	4	学校は分かりやすい授業に努めている。	4	3			
	5	家庭は、子どもの学習に関心をもっている。	3	2	1		1
相談・支援	6	学校は、保護者が相談できる体制を整えている。	2	5			
	7	学校は、子どもの話をていねいに聞き、いじめ防止等に努めている。	1	3			3
情報	8	学校は、適切な情報発信に努めている。	5	2			
安全	9	学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている。	3	3	1		

教職員アンケートについては、全職員で行っております。「あまり思わない」「思わない」という回答も見られますが、一人一人が自身の日々の指導について、しっかりと振り返っている結果だと思います。

学校関係者アンケートについては、学校評議員の皆様、PTA 窓口の皆様をお願いしております。児童、保護者アンケートだけでなく、教職員アンケート、学校関係者アンケートについても、回答項目を「生活」「学習」「相談・支援」「情報」「安全」というように、ある程度揃えておりますので、関係関係についても、考察できる内容になっています。

成果と課題についてしっかりと分析し、改善に努めながら、今後の教育活動に生かしてまいりたいと思います。今後も、ご理解とご協力をお願いいたします。

【考察】

・児童の項目「1・2・3・4」の、めざす子どもの姿に関連したアンケートでは、どの項目も「そう思う」、「ほぼそう思う」の回答を合わせると、概ね80%以上となることから、学校生活に前向きに取り組んでいる児童が多いと思われる。しかし、5年生の項目2に関しては、「あまり思わない」を選択している児童が一定数いることから、けじめということの大切さを考え、しっかりと自己分析できていることが考えられる。

・児童の項目「誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している」では、3・5年生とも、約90%の児童が、肯定的な回答をしている。学校教育目標に「自らの体験を通して伸びようとする子どもの育成」を掲げ、同学年異学年にかかわらず、「かかわりやふれあい」を大切にした教育活動を進めてきた。上級生が下級生に接する機会も多くみられ、相手の立場になって考える経験ができたことが要因の一つであると考えられる。一方で、「あまり思わない」と回答している児童もいる。友だち関係があまり広がらず、一定の友だちとの関わりを大切にしている傾向もみられる。

・生活の「あいさつ」に関連した項目では、3・5年生の児童ともに、「あまり思わない」を選択している児童が一定数いる。また、保護者、学校関係者アンケートの中でも、「子どもは家庭や地域で、進んであいさつしている」の項目では、「あまり思わない」を選択している割合が高くなっている。教職員アンケートにおいても、あいさつの指導の割合が、やや低くなっている。あいさつの大切さは伝えつつも、あいさつは強要するものでもないので、自然とあいさつできるような、人間関係作りが大切なのではないだろうか。学校・家庭・地域が、お互いに顔を知っている関係になれるよう、多くの方が学校に足を運んでいただけるよう努めていきたい。

・児童の「毎日の学習は、だいたい理解できている」の項目について、3・5年生とも肯定的な回答を合わせると90%を超えている。また、保護者の「子どもは学習をだいたい理解している」の項目についても、80%を超えていることから、概ね理解ができていると考えられる。しかし、一方では、「あまり思わない」「思わない」と答えている児童もいるので、介助員や学習支援員等との連携も深めながら、一人一人に寄り添った、より丁寧な指導が必要である。

・「何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる」、「学校には、いじめなどこまったときに話を聞いてくれる先生がいる」の項目について、肯定的な回答が80%以上あることから、多くの児童が安心して学校に通うことができていると考えられるが、一方で、「あまり思わない」、「思わない」と回答している児童もみられる。「話したくても自分から話せない」という児童もいるだろう。児童の様子に気を配り、ちょっとした変化にも気づけるよう今後も努めていく必要がある。また、児童支援担当教諭やスクールカウンセラーなど、担任以外にも話せる職員がいることを、児童にしっかりと伝えていきたい。

・保護者アンケートの「学校は、子どもの話を聞いてねいに聞き、いじめ防止等に努めている」の項目については、「よくわからない」と回答している割合が多くみられる。学校では、「いじめ防止対策基本方針」を策定したり、児童支援担当教諭やスクールカウンセラーなどを配置したりしているが、学校側の周知不足が感じられる。引き続き、ホームページ等でも周知していくが、懇談会や学校便りなど、折に触れて積極的に発信していきたい。

・保護者アンケートの「学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している」、「学校は分かりやすい授業に努めている」の項目についても、「よくわからない」という回答がみられる。コロナ禍において、学校と家庭との関わりが少なくなったことは否めないが、コロナも5類となり、学校・家庭・地域で連携できる部分も戻ってきた。全てがコロナ前に戻るわけではないが、学校としても、発信方法を工夫し、理解を深めていけるように努めていきたい。

・児童アンケートの「家族に学校の様子を話している」では、「そう思う」「ほぼそう思う」の回答を合わせて、3年生が92%、5年生が79%という結果であった。発達段階的に自然な結果であるかもしれないが、保護者アンケートの「子どもから、学校の様子を聞いている」の結果と比較すると、やや乖離も感じられる。また、5年生では、「あまり思わない」という数値も19%みられた。話したくても話せない児童もいるかもしれないので、話しやすい雰囲気作りやきっかけ作りも大切になってくると考える。

・安全についての項目については、肯定的な回答がみられるが、今後、ますます重要になってくる部分である。ハード面での整備も含め、引き続き、緊張感をもって対応していきたい。